企 画 総 務 委 員 会
令和７年３月２５日

公民学連携の取組状況について

１　大学のあるまちづくりについて

（１）千葉大学との連携について

ア　新たな研究開発・交流拠点の開設

社会生活における区民が抱える健康課題等を解決するため、千葉大学墨田サテライトキャンパス２階に、新たな研究開発・交流拠点「あつまレ」を、令和７年５月に開設する。

【施設の特徴】

①研究開発：住まい環境の最適化・ＳＩＣ（ＳＵＭＩＤＡ　ＩＮＮＯＶＡＴＩＯＮ　ＣＯＲＥ）が支援するスタートアップと連携した認知症の早期発見に向けた研究等

②通いの場：「健康」をテーマにした、大学や企業と連携した区民向けプログラムの実施

③健康情報の発信：大学の研究成果の発表、健康への気付きに繋がる体験・情報の発信

イ　次年度の主な連携事業（予定）

笑いと活動・多世代交流プログラム「笑かつ！Ｃａｆｅ」	区が実施する介護予防事業と連携し、運動や笑いの要素を取り入れた健康増進プログラムを公民学連携により実施する。
社会人向けデザインスクール	基礎編：デザインに関する知識と技能の修得を目的とした講義 実践編：地域資源の発見・活用を目的としたグループカリキュラム
デジタルものづくり講座	中学生・高校生を対象とした３Ｄプリンタ等の工作機器を活用したものづくり体験
区民向け公開講座	１１学部、１９大学院の多様な知見を活用した公開講座（年１０回程度）
庁舎リニューアルに関するデザイン連携	庁舎の案内・誘導サインのリニューアル、区民情報コーナーの内装デザイン連携
選挙実施に係るデザイン連携	行動変容を促す投票済証の制作、選挙会場の案内誘導サインの制作

ウ　今後の連携の方向性

デザインや医学の知見を積極的に活用し、区民の行動変容を促す様々な連携を行う。また、キャンパス１～２階の地域開放スペースの機能拡充を図り、区民が気軽に訪れ、大学の教育・研究活動に触れる機会を提供する。

（２）ｉＵとの連携について

ア　次世代モビリティに関する連携

ＭＸ（モビリティ・トランスフォーメーション）の知見を有するｉＵと連携し、職員の業務効率化等を目的に、公務における立ち乗り三輪モビリティの実証実験を行った。

【対象職員】令和７年２月３日～２８日
【対象職員】事前講習を受講した職員５０名
【使用機器】Ｓｔｒｉｅｍｏ※　５台
※ＳＩＣの会員である株式会社ストリーモが、区内事業者の技術支援と、本区における開発場所の提供及び実証実験の支援を受けて開発した。

今後、ｉＵによる調査・分析結果を踏まえて導入検討を進めるとともに、墨田区地域公共交通計画に基づき、様々な次世代モビリティの利活用も含めて検討を進めていく。

イ　ｅスポーツに関する連携

昨年４月に、ｉＵの校舎内にｅスポーツルームを設置し、教育･研究に活用するほか、地域にも開放している。同施設において、区内を拠点とするｅスポーツチーム「ＩＮＳＯＭＮＩＡ」と連携し、子ども向けｅスポーツ体験会等の地域向けイベントを開催した。

今後、区としてもｅスポーツを新たな地域資源として積極的に活用し、多世代交流や賑わいの創出等に繋げていく。

ウ　その他の連携実績

新しい住まい方取材（住宅課）	高齢者デジタルデバイド解消事業（高齢者福祉課）	すみだものづくりフェア（経営支援課）
夏休みスタートアップゼミ（経営支援課）	すみだまつり・こどもまつり（文化芸術振興課）	あずま百樹園リニューアルイベント（行政経営担当）

（３）レイクランド大学との連携について

区との連携協定に基づく地域還元策として、レイクランド大学ジャパンキャンパスが区民向け給付型奨学金制度を創設した。区としても、区民への情報発信や区内高校への案内等を通じて連携を図り、区内の若者支援に繋げていく。

1	対　象	墨田区に在住もしくは区内の高校に在学する高校生
2	定　員	最大６名
3	奨学金	授業料の全額～４分の１の補助（給付型）
4	開　始	令和７年度の入学者から

（４）ＵＤＣすみだとの連携について

ア　令和６年度の主な事業実績

1	大学のあるまちの夏まつり	令和６年８月２５日　参加者：延べ３，０００名
2	京成曳舟駅交通広場イベント	令和６年１１月９日　参加者：約２００名
3	全国ＵＤＣ会議ｉｎすみだ	令和６年１１月２３日　参加者：延べ１７１名
4	春のキャンパスコモンイベント	令和７年３月８日　参加者：延べ３，１３２名
5	Ｃｌｅａｎｕｐ＆Ｃｏｆｆｅｅ Ｃｌｕｂ（ＣＣＣ）	キャンパスエリア周辺における清掃イベント 計７回開催　参加者：計７８名
6	すみだサロン	まちづくり人材の育成等を目的とした交流会 計３回開催　参加者：計６１名
7	あずま百樹園再整備事業	公園整備に係る助言、記録動画の制作、写真展の開催
8	隅田公園再整備構想策定支援業務	言問橋以北の隅田公園再整備に関する構想の策定

イ　今後の方向性

あずま百樹園の再整備完了に伴い、ＵＤＣすみだを主体とした地域の賑わい創出に向けた各種事業を実施する。また、国や都の補助金を活用し、公園管理に関する様々な社会実験や、地域の担い手育成等を通じて、魅力あるまちづくりを推進する。

２　ＳＤＧｓ未来都市の推進について

（１）令和６年度の主な事業実績について

ア　未来都市共創サミット

令和６年１１月９日～３０日　参加者：計４４２名（子ども向け企画を含む。）

イ　ＳＤＧｓアワード表彰式

令和７年２月２０日　アワード受賞９団体、準アワード２団体

【アワード】

新井ハガネ株式会社	岩澤硝子株式会社	株式会社エー・ディー・ピー
合同会社クアッガ	株式会社すみだ珈琲	株式会社ＳｌｏｗＦａｓｔ
株式会社竹徳	公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン	東京東信用金庫

【準アワード】

岡部株式会社	有限会社安田製作所

（２）今後の事業展開について

ア　若者世代を対象にした事業の推進

協定締結団体等の地域資源を最大限活用し、若者の将来の夢を応援する事業を公民学連携により推進する。

【主な事業】

	連携先	対象	内容
1	アストロスケール、千葉大学	小学生	オービタリウム無料招待 区内宇宙スタンプラリー
2	千葉大学	中学生～高校生	区内中学生・高校生向けデジタルものづくり講座
3	安田学園高校、ＵＤＣすみだ	中学生～高校生	まちづくりアイデアコンペ
4	ｉＵ、飛鳥未来きぼう高校	高校生	ｅスポーツ講座、ＳＮＳによる区内の魅力発信に関する連携
5	認定ＮＰＯ法人キッズドア、ＳＤＧｓ宣言事業者等	高校生	若者向けビジネス体験プログラム

イ　協定締結団体等とのネットワークの強化

公民学連携によるまちづくりを一層推進するため、協定締結団体等により構成するネットワークを構築し、情報共有や交流の促進により、公民学連携の輪を広げていく。

【参考】主要な協定締結団体

国立大学法人千葉大学／学校法人電子学園／株式会社セブン‐イレブン・ジャパン／東武鉄道株式会社／ＢＳよしもと株式会社／公益財団法人日本相撲協会／すみだ水族館／アサヒグループジャパン株式会社／株式会社アストロスケール／ＵＤＣすみだ／レイクランド大学ジャパンキャンパス／岡部株式会社　（締結順）